

することの楽しさも必要であると考えます。今後、住民皆様が笑顔で暮らせるまちづくりを邁進してまいります。

奥多摩エリアは東京の水源地であり、その水は東京湾へと繋がっています。町が加盟しております「全国水源の里連絡協議会」は、全国の水源地の里の活性化を図るための組織であり、

その設立にあたりましては「上流は下流を思い、下流は上流に感謝する」という理念が掲げられております。東京が元気であるためには、奥多摩が元気でなくてはなりません。高齢者皆様が元気で暮らせるまちづくり、次代を担う子どもたち、そして私たちを含めた全世代のために全力を尽くす決意であります。

次に、世界で猛威を振るっている新型コロナウイルスの感染症対策につきましても、国の基本的対応方針や都のロードマップを踏

まえ、町として新型コロナウイルスウィルス感染症対策本部を継続する中、引き続き住民皆様の感染防止、健康を第一に考え、町内関係機関とも連携を図ることで、万一の感染発生時にも医療体制の崩壊を招かぬよう職員と一丸となって努めてまいります。

また、観光立町を標榜する町において、先月までの緊急事態宣言を受けた来町自粛の要請により町内の観光事業者の皆様、さらには住民皆様にご負担をお掛けしたところであり、町内の観光事業者には奥多摩観光協会を通じた助成金の支給

を4月下旬より開始し、一方、住民皆様には町議会皆様の要望を受け、国の特別定額給付金とは別に町独自の給付金を上乘せし、申請書を受付後、概ね2週間後を目途に給付手続きを進め、給付対象世帯2650世帯のうち、初回の6月4日には1131世帯に、

第2回目の6月11日には1109世帯に対し、それぞれ給付したところであります。

この感染症対策は、治療法の確立、ワクチンの開発・予防接種が実施されるまでの長期戦であることから、引き続き感染拡大防止を図るとともに、刻々と変化する状況に応じ、町民皆様、事業者皆様に対する必要な支援を検討してまいります。

つぎに、昨年10月に襲来した台風第19号・東日本台風災害の爪痕は、町内の各所にいまだ残っており、わさび田や林道の復旧、そして、都道・日原街道の本復旧に向け、引き続き東京都をはじめとする関係機関と連携し対応するとともに、大雨、地震などの自然災害に備え、危機管理を十分に備え、地域防災計画などの見直しを図ってまいります。

いずれにいたしまして

も、これまでの経験と人脈を最大限に活用し、皆様からいただきました町政に対する思いやご意見をしっかりと受け止めさせていただき、町政の発展に向け全力で取り組んでまいります。今後の町政運営につきましても、住民皆様との協働及び議員皆様との議論を踏まえ、住民皆様方が安全で安心して生活できますこと

を基本として、様々な施策に優先順位を付け、取捨選択をし、一歩一歩着実な町政の進展を図ってまいりますので、住民皆様、議員皆様の絶大なるご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。就任にあたりましての私の所信表明とさせていただきます。

特別定額給付金の申請はお済みですか？



国の新型コロナウイルス感染症緊急経済対策に基づき、家計への支援を行うため、町においても、町独自の給付金と併せて特別定額給付金給付事業を実施しています。

まだ申請がお済みでない方は、お送りした申請書をご確認いただき、世帯主の本人確認書類いずれか1点と振込先口座がわかる通帳などの写しを添付のうえ、返信用封筒にて郵送してください。

なお、申請期間は、8月25日（火）まで（消印有効）となります。

※問い合わせは、企画財政課 ☎83-2360